

2019 年度
小学校外国語活動
年間指導計画
指導案例集

第4学年

2019 年 3 月
那覇市教育委員会

2019 外国語活動 4学年 年間指導計画一覧表
教材名 "Let's Try! 2" (15時間)

実施月	時間	単元名 時間数	指導目標	主な表現	主な語彙
4月 ～ 7月	1	Unit2 Let's play cards. 「好きな遊びをつたえよう」	【慣・気】世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、遊びや天気の違いを知る。	How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. Yes, let's. Sorry. Stand up. / Sit down. / Stop. / Walk. / Jump. / Run. / turn around.	天気 weather, sunny, rainy, cloudy, snowy 動作 stand, sit, stop, jump, turn, walk, run, look, put, touch, play up, down, on, around, left, let's, today, 遊び tag, jump rope, bingo game 等
	2		【慣】遊びや天気の違いに慣れ親しみ、さまざまな動作を表す語句や遊びに誘う表現を知る。		
	3		【コ】天気の違いに慣れ親しみ、好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。		
	4	Unit5 Do you have a pen? 「おすすめの文房具セットをつくろう」	【慣】文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。	Do you have ~? Yes, I do. No, I don't. I have ~. I don't have ~.	have 身の回りの物 glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil, shapen er, pencil case, desk, chair, clock, calendar
	5		【慣】文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。		
	6		【コ】文房具など学校で使う物について、尋ねたり、答えたりして伝え合う。		
9月 ～ 12月	7	Unit6 Alphabet 「アルファベットで文字遊びをしよう」	【慣】身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。	Look. What's this? Hint please. How many letters? I have ~. Do you have ~? Yes, I do. No, I don't. That's right. Sorry. Try again.	小文字(a～z) letter, try, again, bookstore, juice, news, school, station, taxi, telephone
	8		【慣】活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。		
	9		【慣】身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりする。		
	10		【コ】相手に配慮しながら、アルファベット文字について伝え合おうとする。		
	11	Unit8 This is my favorite place. 「お気に入りの場所をしょうかいしよう」	【慣】教科名や教室名の言い方、道案内の仕方に慣れ親しむ。	Go straight. Turn right/left. Stop. This is ~. This is my favorite place.	favorite, my, our place, go, straight 学校・教室等 classroom, restroom (science / music / cooking) room, (school nurse's / school principal's / teacher's) office, library, gym, playground
	12		【気】世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付く。 【コ】自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。		
1月 ～ 2月	13	Unit9 This is my day. 「ぼく・わたしの一日」	【慣】日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。	I wake up (at 6:00). I have breakfast (at 7:00). I go to school. I go home.	日課 wash my face, go to school, go home, brush my teeth, put away my futon, check my school bag, leave my house, everything, later, boy, girl, yummy, wonderful
	14		【慣】日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。		
	15		【慣】日課を表す表現に慣れ親しみ、まとまりのある話を聞いておおよその内容が分かる。		

単元目標

- ・世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、遊びや天気の違いを知る。【慣・気】
- ・遊びや天気の違い方に慣れ親しみ、さまざまな動作を表す語句や遊びに誘う表現を知る。【慣】
- ・天気の違い方に慣れ親しみ、好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。【コ】

1. 言語材料

○How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy /snowy]. Let's (play cards). Yes, let's. Sorry.

Stand up. / Sit down./

Stop. / Walk. / Jump. / Run. / Turn around.■

○天気(weather, sunny, rainy, cloudy, snowy), 状態・気持ち(hot, cold),

動作(stand, sit, stop, jump, turn, walk, run, look, put, touch, play), up, down, on, around, left, let's, today,

身体の一部 W 立(hand, leg),遊び(tag, jump rope, bingo,game), outside, inside,衣類(shirt, shorts, sweater, pants, boots, cap)

[既出]挨拶・自己紹介, I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? 状態・気持ち,how, is, it, right,身体の一部, 色, スポーツ

3.関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
話すこと (やり取り)	イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝えようとする。

4.単元計画(3時間)

時	目標(◆)と主な活動(【】、○)【】=誌面化されている活動	◎評価の観点(方法)
1	◆世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、天気や遊びの違いを知る。 ○指導者の質問に答え、天気の違い方に会おう。 ○歌 Hello Song (3 年 Unit 2) 【Let's Chant】 How's the weather? p.6 ○どんな場面かな。 ・児童用テキストの誌面 p.6,7 を見て、日本各地の登場人物が何をしている様子かを考えて答える。 【Let's Watch and Think 1】 p.6 ・子供たちの遊びの様子を視聴したり、ALT の言語を聞いたりして、自分たちの遊びと世界の子供たちの遊びの共通点や相違点を発表する。 ○歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2)	◎世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付いている。 〈行動観察・振り返りカード分析〉【気】
2	◆遊びや天気の違い方に慣れ親しみ、さまざまな動作を表す語句や遊びに誘う表現を知る。 ○天気について指導者の質問に答える。 ○歌 Hello Song (3 年 Unit 2) 【Let's Chant】 How's the weather? p.6 ○天気図を作ろう。 【Let's Listen 1】 ・音声を聞いて天気を聞き取り、登場人物とイラストを線で結ぶ。	◎天気や遊びを聞いて、線で結んでいる。 〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉【慣】

	○ 'Let's' Game ・動作を表す語句や体の部位等を表す語に慣れ親しむ。 【Let's Sing】 p.6 Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe One little finger 【Let's Listen 2】 p.8 ・衣類等の言い方を知る。 ・音声を聞いて天気と衣類を線で結ぶ。 ○ 歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2)	
3	◆天気の言い方に慣れ親しみ、好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。	
	○ 天気について指導者の質問に答える。 【Let's Listen 3】 ・国名と天気を聞き取り、□に天気の色を描く。 【Let's Watch and Think 2】 ・世界のさまざまな天気について分かたつたことを発表する。 ○ 天気に応じた好きな遊びを教える。 ・ペアになり、天気に応じて好きな遊びを提案したり答えたりして伝え合う。 【Let's Chant】 How's the weather? p.6 【Let's Sing】 p.6 Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe One little finger ○ 歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2)	◎天気を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉【慣】 ◎好きな遊びについて尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉【慣・コ】

4 年 Unit 2—Lesson1 Let's play cards.好きな遊びを伝えよう 1/3時間

目標 世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、天気や遊びの言い方を知る。

準備 児童用テキスト、教師用カード(天気)、デジタル教材(3 年)、振り返りカード

時間	児童の活動	主旨導#の活動◎言平(而く方法)	準備物
10 分	・挨拶をする。 ○ 指導者の質問に答え、天気の言い方に出会う。 ○ 歌 Hello Song (3 年 Unit 2) 【Let's Chant】 How's the weather? p.6 まずチャンツを聞いて、続いて分かるところだけを口ずさむ。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 ・窓の外をさして、How is the weather?と尋ね、 Sunny?Rainy?Cloudy?Snowy?と言いながらジェスチャーで示すとともに、それらの教師用カードを見せる。 ・児童の答えやつぶやきに応じて、It's sunny / rainy / cloudy / snowy.と紹介する。さらに、Do you like sunny / rainy / cloudy / snowy days?と尋ね、児童に天気の言い方に出会わせるようにする。 ・児童と一緒に歌う。 ・2 回ほど聞かせたうえで、次に分かるところだけを口ずさむように言う。 How's the weather? How's the weather? Sunny, sunny. It's sunny. Wow. How's the weather? How's the weather? Rainy, rainy. It's rainy. Oh, no. How's the weather? How's the weather? Cloudy, cloudy. It's cloudy. OK. How's the weather? How's the weather? Snowy, snowy. It's snowy. Yeah. Let's make a snowman.	教師用カード (天気) デジタル教材 (3 年) デジタル教材
10 分	○ どんな場面かな。 ・児童用テキストの誌面 p.6,7 を見て、日本各地の登場人物が何をしている様子かを考えて答える。 ・指導者の質問に答える。	誌面の登場人物の様子について尋ね、児童の答えやつぶやきを拾いながら、天気や遊びの言い方に何度も触れさせるようにする。その際、デジタル教材の音声(▶のボタン)を聞かせてもよい。 ・登場人物が、それぞれ天気に応じた遊びをしていることに気付かせる。 It's snowy. Let's make a snowman. It's cloudy. Let's play tag. It's rainy. Let's play cards. It's sunny. Let's play dodgeball. ・児童に遊びについて尋ね、やり取りをし、本単元は遊びについて扱うことを意識させ、次の Let's Watch and Think につなげる。他にどんな遊びがあるかを尋ね、児童のつぶやきを拾いながら、それらについても尋ねるとよい。 Do you like tag / card games / dodgeball / soccer /	デジタル教材 児童用テキスト

19 分	【Let's Watch and Think 1】 p.6 ・子供たちの遊びの様子を視聴したり, ALT の話を聞いたりして, 自分たちの遊びと世界の子供たちの遊びの共通点や相違点を発表する。 ＜発言例＞ 天気によって遊びの仕方がいろいろある, 雪が多い地域では雪遊びができる, 外国でも日本と同じ遊びをする, 外国には, 日本と違う遊びがある, 日本には日本でしかない遊びがあるかもしれない, など。	子供たちの遊びの映像資料を見せて, 天気によってさまざまな遊びをしていることに気付かせる。 また, デジタル教材の映像資料を見せた後, ALT がいれば, ALT に母国の小学生の遊びを紹介してもらったり, いなければインターネットで世界の遊びの例を紹介したりして, 世界の子供たちの遊びを知らせる。 (1) I'm in Hokkaiaio. It's snowy. It's very cold. Let's make a snowman! ② Hi, it's cloudy here. Let's play tag in the playground! ③ Oh, it's rainy. Let's play cards in the classroom. ④ Hi, it's sunny here. Let's go outside and play dodgeball. I like dodgeball very much.	デジタル教材 児童用テキスト
	※ NHK for School「えいごリアン」では, ブーメラン, カノパディの遊びを紹介している。 ! http://www.nhk.or.jp/eigo/eigorian/?das_id=D0005140183_00000	◎世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して, 多様な考え方があることに気付いている。〈行動!見察・振り返りカード分析〉	
5 分	本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。	振り返りカード
1 分	○ 歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2) 挨拶をする。	児童と一緒に歌う。 挨拶をする。	デジタル教材

4 年 Unit2—Lesson 2 Let's play cards. 好きな遊びを伝えよう 2/3 時間

目標 遊びや天気の違い方に慣れ親しみ、さまざまな動作を表す語句や遊びに誘う表現を知る。

準備 児童用テキスト、教師用カード（天気）、ワークシート（Unit2-1~2-4）、デジタル教材 3 年
振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
6 分	・挨拶をする。 ○ 天気について指導者の質問に答える。 ○ 歌 Hello Song (3 年 Unit 2) 【Let's Chant】 How's the weather? P6	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 ・窓の外をさして、How is the weather?と尋ね、Sunny? Rainy? Cloudy? Snowy?と言いながらジェスチャーで示すとともに、それらの教師用カードを見せる。 ・児童の答えやつぶやきにに応じて、It's sunny /rainy / cloudy /snowy.と紹介する。さらに、Do you like sunny / rainy / cloudy / snowy days?と尋ね、児童と天気を話題にやり取りをする。 児童と一緒に歌ったり、チャンツを言ったりする。 How's the weather? How's the weather? Sunny, sunny. It's sunny. Wow. How's the weather? How's the weather? Rainy, rainy. It's rainy. Oh, no. How's the weather? How's the weather? Cloudy, cloudy. It's cloudy. OK How's the weather? How's the weather? Snowy, Snowy .It's snowy. . Yeah .Let's make a snowman.	教師用カード (天気) デジタル教材 (3 年) デジタル教材
1 3 分	○ 天気図を作ろう。 ワークシート (Unit 2-1) の天気カードを切り取っておく。 ・指導者の言う天気を聞いて、日本地図に天気カードを貼る。 ・その地域での遊びを提案する。	ワークシートの日本地図で、まず自分たちの学校がある都道府県がどのあたりかを児童と確認したうえで、例のように北海道、四国、九州、沖縄の天気を言う。その際児童に天気を尋ねさせるようにする。 例 Ss: How's the weather? T: It's snowy in Hokkaido. It's cold. Ss: How's the weather? T: It's rainy in Shikoku. It's not cold. It's not hot. Ss: How's the weather? T: It's cloudy in Kyushu. It's not cold. It's not hot. Ss: How's the weather? T: It's sunny. It's hot.	ワークシート (Unit 2-1)

	【Let's Listen 1】 p.8 ・登場人物の名前を確認する。 ・音声を聞いて天気聞き取り、登場人物とイラストを線で結ぶ。 ・それぞれのどのような遊びかを考えて答え、音声を聞いて遊びを確認する。 ・2人の会話はどのような場面かを推測する。	誌面 p.8, 9 を開かせ、3 人の登場人物(No.1 Takeru, No. 2 Sayo, No. 3 William)の名前を確認する。 ・音声を聞いて天気と遊び聞き取るように言う。 ・音声は2人の子供のやり取りで、まず天気について言い、その後天気に応じた遊びをしようと提案する内容となっている。そこで、児童の音声を聞く意欲をより高めるために、天気についてやり取りが行われた後、いったん止めて、誌面の3つのどれかを尋ねたうえで、そのイラストに示されている遊びは何かを児童に尋ねる。(sunny: dodgeball, cloudy: tag, rainy: card) ・音声の続きを聞かせ、みんなで言った遊びが聞こえたかを確認する。また、2人の会話はどのような場面かを挿入させ、発表させる。 ・誌面にある3つの遊びやほかの遊びについて児童とやり取りをする。 Do you like 'tag / card games / dodgeball/soccer / volleyball/darumasan-ga-koronda/Senchosan ga imashita' ? など ・「船頭さんが言いました」について尋ね、次の活動につなげる。 1 たける : How's the weather? エミリー : It's rainy. たける : Oh, well. Let's play cards, then. エミリー : OK. 2 さよ : How's the weather? ロバート : It's cloudy. さよ : Then, Let's play tag outside. ロバート : Sounds good. 3 ウィリアム : How's the weather? ひなた : It's sunny ウィリアム : Oh, Let's go outside and let's play tag. ひなた : Umm, no, sorry. I don't like playing tag. Let's play dodgeball. ウィリアム : Yes, let's. ◎天気や遊びを聞いて、線で結んでいる〈行動観察・記述分析・振り返りカード点検〉	
	'Let's' Game ・実際にゲームをしながらルールを知 - る。 ・動作を表す語句や体の部位等を表す語に慣れ親しむ。	・「船長さんが言いました」とよく似た遊びをみんなでやってみようと呼びかける。 ・実際にゲームを進めながらルールを理解させる。 ・動作を表す語句や体の部位等を表す語に慣れ親しませるのがねらいで、テンポよく指示を出すことがポイントである。 ・また、児童が慣れてきたら、言っていることと違う動作を	

		するなど、児童が飽きずに取り組み指示を集中して聞くよう工夫する。 最後に体の部位を取り上げ、(Let's) Touch your eyes / mouth / arm / head / chin / leg / foot. と指示を出し、 次の Let's Sing につなげる。ただし、次の Let's Sing は英語のリズムに慣れ親しませることがねらいであり、歌詞にある語句が言えるように慣れ親しませることを求めているわけではない。	
	'Let's Game' の進め方 • Let's を付けたときはその後に続く指示どおりの動きをし、Let's を付けない時は動かないというゲームだが、以下のように進めながら児童がルールを理解できるようにする。 • 手指導者は動作を付けながら、"Let's. stand up / sit down / turn right / jump / walk / run / stop / touch your nose." などと動作を言い、児童に真似て動作をするよう促す。Let's. touch your T-shirt / shorts/sweater/pants. など、衣類の言い方も取り入れる。 • 突然、Let's を付けずに動作を言い、間違って真似た児童に "Oh. no. Sorry" と言って座るよう指示をし、Let's が付くかどうかのポイントであることに気付かせるようにする。 何度も繰り返し動作を付けながら指示を出す。		
6 分	【Let's Sing】 p.6 Rain, rain, go away Eeny, meeny, miny, moe : 数え歌 One little finger : 歌いながら指示されたものを指し示す。	・ Let's play more! と、前活動の続きでいろいろな遊びをしようと呼びかけ、Let's Sing を行う。 ・ デジタル教材の画面に示される Let's Sing の哥欠言司の語句に慣れ親しませることをねらいとしているのではなく、英語のリズムに慣れ親しませることがねらいである。休み時間等に児童が思わずこれらのリズムをロずさんだりしている様子が見られる程度を目指したい。 ・ 3 曲収録されており、児童の実態に応じて選択して歌うとよい。 One Little finger は指導者が動作を付けながら歌う、あるいは、ALT 等がいれば実際に歌ってもらったり、ほかの 2 曲と同様デジタル教材を視聴させたりする。 数回聞かせた後、一緒に言えるところだけを言ってみようと呼びかけ、児童も一緒に動作を付けて歌を楽しませる。	
	Rain; rain; go away Ram, ram, go away, come again another day. [My dog / My cat / Little Sayo] wants to play, rain, rain, go away. Eeny, meeny, miny, moe Eeny, meeny, miny, moe. catch a tiger by the toe. If he hollers. let him go. Eeny, meeny, miny, moe.		

	One little finger One little finger, one little finger, one little finger, tap tap tap Point your finger up. Point your finger down. Put it on your head. Head! (head→nose→chin→arm→leg→foot)		
		* Eeny, meeny, miny, moe は、日本でいう わらべ歌の「どちらにしようかな」のようなもので、英語圏で子供が歌っている数え歌である。鬼ごっこなどで、指を指して鬼を決めたりする際に歌ったりする。	
	【Let's Listen 2】 p.8 ・衣類等の言い方を知る。 ・音声を聞いて天気と衣類を線で結ぶ。	・音声を聞かせる前に、誌面にある天気や衣類等と言えるものを言うよう促す。4 種類のお天気では、どの衣類等を身に着けるとよいかを児童に考えさせ、これから聞く音声は、親が子に天気に応じた衣類を切るように言っている場面であることを伝え、その確認として音声を聞かせることで、その確認として音声を聞かせることで、意欲的に聞かせるようにする。その際、指導者は児童の答えやつぶやきを拾いながら、衣類等の言い方を紹介するとよい。 brown / red cap, blue / green shirt, black / yellow boots ・天気に応じてどのような衣類がふさわしいかを児童に考えさせ、これから聞く音声は、親が子に天気に応じた衣類を着るように言っている場面であることを伝え、その確認として音声を聞かせることで、意欲的に聞かせるようにする。 ① Look, it's sunny. Put on your cap. No, not the Drown cap. Put on the red cap. ② Oh, it's cloudy. Put on your shirt. No, not the blue shirt. Put on the green shirt. ③ Oh, it's rainy. Put on your boots. No, not the black boots. Put on the yellow boots. ④ Look! It's snowy. Don't forget your boots. That's right. Put on the black boots. Let's make a snowman!	
5 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。	振り返りカード
2 分	・○ 歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

目標 天気の違いに慣れ親しみ、好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。

準備 児童用テキスト、教師用カード（遊び、天気）、ワークシート（Unit2-2,3,4）
デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動	◎評価〈方法〉	準備物
3 分	・挨拶をする。 ○天気について指導者の質問に答える。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶をする。 ・窓の外をさして、How is the weather?と尋ね、Sunny? Rainy? Cloudy? Snowy? と言いながらジェスチャーで示すとともに、それらの教師用カードを見せる。 ・児童の答えやつぶやきにに応じて It's sunny /rainy /cloudy / snowy と紹介する。 さらに、Do you like sunny /rainy /cloudy / snowy days? と尋ね、児童と天気を話題にやり取りをする。		教師用カード (天気)
5 分	【Let's Listen 3】p. 9 ・国名と天気を聞き取り、□に天気 の絵を描く。 No.1 : I'm in Japan. It's sunny here. No.2 : I'm in Egypt. It's sunny No.3 : I'm in Greenland. It's snowy. No.4 : Hi, I'm in Canada. It's cloudy today. No.5 : I'm in Brazil. It's rainy. No.6 : I'm in Hawaii. It's sunny. It's so hot!	・1 度音声を聞いて聞き取れた国名を発表させ誌面でその位置を痛忍してから、再度音声を聞かせ、□に天気 の絵 (p.9 Let's Listen 3 の天気のマーカー参照) を描かせる。 ・ほかにもどのような天気があるかと投げかけ、世界の天気予報を聞いてみようと呼びかけ、次の活動につなげる。 ◎天気を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉		
6 分	【Let's Watch and Think 2】 p. 9 ・世界のさまざまな天気について分かったことを発表する。 〈発言例〉 Cat と dog って聞こえたけど天気と関係があるのかな。 アメリカでは台風のことをハリケーンって呼ぶのかな。 ニュージーランドもたくさん雪が降るんだね。など。	・英語を聞き取ることにフォーカスを当てるのではなく、世界の自然の様子を知ることにはフォーカスを当てるように声かけをし、天気を通じて世界への関心を高めることがねらいである。 気象予報士 : Good morning. It's the time of the world weather. ①How about Indonesia? Oh, it rains cats and dogs. Don't forget to carry an umbrella. ②How about America? Oh, very very strong wind! A big hurricane is coming. Don't go outside and be careful. ③How about New Zealand? Wow, it's snowy. We can see a blanket of snow on the top of the mountains. Don't forget to put on your gloves!		デジタル教材 教師用カード (遊び・天気)

14 分	○ 天気に応じた好きな遊びを教えて。 ・指導者の提案に、No! Yes, let's などと答えたり、天気に応じた遊びを提案したりする。	・デジタル教材で Let's Watch and Think2 の 3 種類の映像で、天気の様子がよく分かるところで映像を止め、児童を遊びに誘う。あえて、その天気の中でのするのは難しい遊びを提案し、児童から No! という返答が来るように仕向け、では、どのような遊びがよいか児童に考えさせることで、児童が天気に応じた遊びを提案したいという意欲を高めるようにする。そうすることで、ペアで天気に応じた遊びを提案するやり取りにつなげる。	デジタル教材 教師用カード (遊び、天気)
指導者の発話例 Now in Indonesia. It's rainy. Umm. I like soccer. Everyone, let's play soccer! OK? No? Let's play ...? Now in America. It's windy. Umm, I like dodgeball. Let's play dodgeball. OK? No? Let's play ...? Now in New Zealand. It's snowy. Umm, I like snow! Let's make a snowman. OK? No? Let's play ...? !			
ペアになり、天気に応じて好きな遊びを提案したり答えたりして伝え合う。		等の天気の日に適したと思う遊びを互いに提案するよう言う。隣前後、斜めで繰り返し行わせる。 ・児童の実態に応じて、指導者が It's sunny などと天気を設定したうえで、児童にやり取りをさせてもよい。答え方のノパターンを決めずに、児童にどの遊びにするか、どう応じるかを決めさせたい。	
やり取りの例 A: I like dodgeball. Do you like dodgeball? B: Yes, I do. I like dodgeball. I like soccer, too. A: Let's play dodgeball. C: I like <i>kendama</i>. Do you like <i>kendama</i> ? D: No, I don't. Do you like card games? C: Yes, I do. I like card games. D: Let's play card games. E: I like tag. Do you like tag? F: Yes, I do. I like volleyball. Do you like volleyball? E : Yes, I do. Let's play volleyball. F: Yes, let's. G: I like tag. Do you like tag? H: Yes, I do. I like volleyball. Do you like volleyball? G: Yes, I do. Let's play tag. H: Umm..., sorry. Let's play volleyball. G: Yes, let's.			
		◎好きな遊びについて尋ねたり答えたりしている。 〈行動観察・振り返りカード点検〉	
10 分	Let's Chant】 How's the weather?p.6 【Let's Sing】 p.6 Rain, rain, go away Eeny; meeny, miny; moe : 数え歌 One little finger : 歌いながら指示されたものを指し示す。	児童と一緒にチャンツを言ったり、歌ったりする。 ・デジタル教材の画面では、Let's Sing の歌詞が表示されるが、これらの語句に慣れ親しませることをねらいとしているのではなく、英語のリズムに慣れ親しませることがねらいである。3 曲収録されており、児童の実態に応じて選択して歌うとよい。 ・One Little finger は指導者が動作を付けながら歌う、	デジタル教材 ワークシート (Unit 2-2 ~ 2-4)

		あるいは、ALT 等がいれば実際に歌ってもらったり、ほかの 2 曲と同様デジタル教材を視聴させたりする。一緒に言えるところだけを言ってみようと呼びかけ、児童も一緒に動作を付けて歌を楽しませる。	
5 分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度でよかったところについて称賛する。	振り返りカード
2 分	歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

4年—Unit5 単元名 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう

1 単元目標

- ・文具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。【慣】
- ・文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。【慣】
- ・文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。【コ】

2 言語材料

○ Do you have (a pen)? Yes, I do. / No, don't. I [have / don't have] (a pen). This is for you.

○ have,身の回りの物(glue stick, scissors, pen, stapler, magnet, marker, pencil sharpener, pencil case, desk, chair, clock, calendar),状態・気持ち (short)

[既出]挨拶, How's the weather? It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]., What day is it? It's (Monday)., Do you like(blue)? Yes, I do. / No, I don't., What (sport) do you like? I like (soccer). (The "A" card), please. How many(apples)? Ten (apples).状態・気持ち (big, small, long, short), 形, 色, スポーツ, 動物, 飲食物, 数, 身の回りの物(pencil, eraser, ruler, crayon), 数(1-60)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	いゆつくりはつきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (発表)	ウ日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

4 単元計画(3時間)

時	目標(◆)と主な活動(【】,○)【】=誌面化されている活動	◎評価の観点(方法)
1	◆文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。 ○チャンツ What time is it? (Unit 4) ○何かな, 予想しよう。 ・指導者の質問に答えたり, 持っているものを数えたりする。 ○誌面を見てどのようなものがあるかを発表し, 文房具の言い方を知る。 ・指導者の話を聞いて, 単元の見通しをもつ。 【Let's Watch and Think 1】p.18 ・文房具の言い方を知り, その数を数える。 【Let's Play 1】I spy ゲーム p.19 ・指導者のヒントを聞いて, 自分の持ち物から該当するものを探して言う。 ・指導者の質問に答える。 (・BINGO ゲーム) ○歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2)	◎文房具などの学校で使う物を聞いたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	◆文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・BINGO ゲーム ○カード■デイスティニー■ゲーム 【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

	・ペアで、自分の立場で答える形でチャンツを言う。 【Let's Listen】 p.20 ・筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について指導者の質問に答えたり、ペアでやり取りしたりする。 ○歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2)	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動!見察・振り返りカード点検〉
3	◆文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。 【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19 【Let's Watch and Think 2】p.20 ・世界の子供たちがかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを口に記入する。 【Let's Play 2】p.21 ・ペアの1人が文房具カードを誌面に置いて文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。 ○歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2)	◎文房具などの学校で使う物を尋ねたり答えたりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉

4 年 Unit 5—Lesson1 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう 1/3 時間

目標 文房具などの学校で使う物の言い方に慣れ親しむ。

準備 児童用テキスト、教師用カード(文房具)、児童用テキスト、さまざまな文房具など、ワークシート(3 年 Unit1-2 ビンゴシート)、文具セット、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をして、個別にも挨拶する。	
1分	○ チャンツ What time is it? (Unit 4)	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
15分	・何かな、予想しよう。 ・指導者の質問に答えたり、自分の持っているものを数えたりする。 ○誌面を見てどのようなものがあるかを発表し、文房具の言い方を知る。 ○指導者の話を聞いて、単元の見通しをもつ。	・指導者はあらかじめ、かばんの中に筆箱、ノート、本、教科書、ホッチキス、マグネット、カレンダー、ハンカチ、時計、鍵などを入れておき、児童に中に何が入っていると思うかと問いかけ、児童の答えやつぶやきに応じながら、それらをかばんから 1 つ 1 つ出して、紹介していく。また、筆箱の中に入っている物についても紹介する。 ・鉛筆などは複数入れておき、児童にその束を見せ、何本あるかを予想させてから、児童と一緒に数える。一方的に話すのではなく、物を見せては、Do you have pencils in your desk / bag / pencil case / pocket? How many pencils? Let's count together.などと尋ねたり声をかけたりして児童とやり取りをしながら進める。 ・児童用テキスト p.18,19 を開かせ、誌面の文房具の中で自分の持っている物はないか尋ねるなどして、児童の興味を高める。また、児童の答えやつぶやきに応じて、誌面にある文房具の言い方を紹介する。その際、デジタル教材で音声聞かせてもよい。 ・指導者があらかじめ校内のある先生などのために作成しておいた文房具セットを理由とともに紹介する。また、本単元終末には、このようにみんなもある人のために文房具セットを作ることを告げ、単元の見通しをもたせるようにする。	さまざまな文具など かばん デジタル教材 児童用テキスト 文房具セット
〈紹介例〉 T : Look. This is for ○○ sensei. I have three blue pencils. One eraser. I have a blue ruler. I have a blue stapler. Two notebooks. One blue marker. ○○ sensei likes blue.			
10分	【Let's Watch and Think 1】 p.18 ・文房具の言い方を知り、その数を数える。	・映像内容は、2 人の子供がお店屋さんごっこをしている場面 4 種類である。 ・まずデジタル画面で誌面 p.18,19 を映し、文房具の言い方を確認し、それがいくつあるかと尋ねたうえで映像を見せることで、映像への興味を高める。	デジタル教材

- ①A : Welcome to my shop. I have notebooks, calendars, staplers and pencil cases.
 B : Wonderful. How many notebooks?
 A : Well, let's count together. One, two, three, four, five, six. Six notebooks!
- ②A : Here is my shop. I have some markers, pencil sharpeners and staplers.
 B : Pretty. How many markers?
 A : One, two, three, four, five, six, seven. Yes, I have seven markers and I have six colors.
- ③A : This is my shop. Welcome. I have pencils, erasers, glue sticks and pens.
 B : Wow! How many erasers?
 A : One, two, three, four, five, six, seven, eight. Eight erasers.
- ④A : Come on in! This is my shop. I have some pencil cases, magnets, notebooks and markers.
 B : Great. How many magnets?
 A : One, two, three, four, five, six, seven, eight, nine. Nine magnets.

17分

【Let's Play 1】I spy ゲーム p.19

- ・指導者のヒントを聞いて、自分の持ち物から該当するものを探して言う。
- ・指導者の質問に答える

・自分の持ち物を見せながら、児童の持ち物から同じものを探させる。Do you have a pencil? Where is it? (片手を目の上にかざして、探しているジェスチャーをしながら)さまざまな文房具品で行い、児童の身の回りにある文房具品を確認させたうで行う。

さまざまな
文房具など
教師用カード
(文房具)

I spy ゲームの進め方

指導者は、誌面の文房具や教室にある物を1つ選び、その色や形状を I spy with my little eye ... something blue.などと言い、各児童はそれをヒントに該当する物を答える。指導者が選んだ物を言い当てれば、1ポイントもらえる。

児童の実態に応じて、個人やペア、グループで行う。

・単に見つけて言い当てれば終わりではなく、言い当てれば、その文房具について児童とやり取りを行うようにする。ここでは、文房具を題材に児童とやり取りをすることがねらい。

〈やり取りの例〉

T : I spy with my little eye ... something blue.

S1 : (A) Pencil.

S2 : (A) Pencil case.

T : Great. Show me. A blue pencil. A blue pencil case. Very good.

S2 *san*, do you like blue?

S1 *san*, how many pencils do you have?

Five? Everyone, how many pencils do you have? Let's count together.

◎文房具などの学校で使う物を聞いたり言ったりしている。
 〈行動#見察.振り返りカード点検〉

〈BINGO ゲーム〉

・時間があれば、ビンゴゲームをする。

	BINGO ゲームの進め方 ・各児童はビンゴシート（3年ワークシート Unit1・2）のマスに，児童用カード（文房具）の10種類のうち9種類を並べる。 ・指導者が Do you have ~ (文房具)? と尋ね，児童は Yes, I do. / No, I don't. と答えながら，その文房具の絵カードがあれば裏返す。縦，横，斜めのどれか一行がそろえばビンゴとなる。慣れてきたら代表児童や指名した児童が指導者の代わりに言う。		教師用カード (文房具)
5分	本時の活動を振り返り，振り返りカードに記入する。 ○ 歌 Goodbye Song (3年 Unit 2) 挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	振り返りカード デジタル教材

4 年 Unit 5—Lesson 2 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう 2/3 時間

目標 文房具などの学校で使う持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

準備 児童用テキスト, 教師用カード(文房具), 児童用カード(文房具), ワークシート(3 年 Unit1-2 ビンゴシート, (Unit 5-1,2), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価(方法)	準備物
2分	・挨拶をする	・全体に挨拶して、個別にも挨拶する	
8分	OBINGO ゲーム BINGO ゲームの進め方 各児童はビンゴシート(ワークシート Unit1-2)のマスに, 児童用カード(文房具)を並べる。 ・指導者が Do you have ~(文房具)?と尋ね, 児童は Yes, I do. / No, I don't.と答えながら, その文房具の絵カードがあれば裏返す。縦, 横, 斜めのどれか一行がそろえばビンゴとなる。慣れてきたら代表児童や指名した児童がキ指導者の代わりに言う。	・前時と同様に行う。	教師カード (文房具) 児童用カード (文房具) ビンゴシート (3 年ワークシート Unit1-2)
12分	○カード■ディスティニー■ゲーム 活動の進め方 児童は, 自分の筆箱の中に入りたいものを, 9 種類の児童用巻末絵カードから 5 種類選んで持つように言う。 指導者は, Do you have ~(文房具)?と児童に尋ねる。その文房具の絵カードを持っている児童は, そのカードを机に出す。5 枚すべてのカードがなくなったらあがり。 〈やり取りの例〉 T: Do you have a pencil? S1,2, 3: Yes, I do.(机に鉛筆絵カードを出す) T: Good. Next, do you have a marker? ; S 4: Yes, I do. (机にマーカーの絵カードを出す) S 1,2, 3: No, I don't. T: Only S4? Good..	◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動観察.振り返りカード点検〉	児童用カード (文房具)
4分	【Let's Chant】 Do you have a pen? p.19 ペアで, 自分の立場で答える形でチャンツを言う。 Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, don't. Do you have a pencil case? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a ruler? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a stapler? Yes, I do. Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!	まず, 最初は数回聞かせ, ペアで 1 人が質問し, もう 1 人が答えるという形でチャンツを言わせる。答える側は, 自分が前活動で選んだ文房具品について自分の立場で答えて言うよう指示する。	デジタル教材 前活動で使ったカード (文房具)

14分	【Let's Listen】 p.20 ・筆箱の中身の紹介を聞き、誰の筆箱かを考えて番号に名前を書く。 ・筆箱の中身について指導者の質問に答えたり、ペアでやり取りしたりする。	・登場人物の文房具の数や色に注意して聞くように伝えるなど、聞こうとする意欲を高めるようにする。 ・児童の実態に応じて、誌面の4種類の筆箱の中の文房具を確認してから、音声を聞かせるとよい。 ・聞いて終わりにせず、筆箱の中身を題材に児童とやり取りをする。やり取りをしながら、文房具について尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませ、児童自らI have～.と言うよう促す。	デジタル教材 児童用テキスト
Sayo : Hi, everyone. I'm Sayo. Please find my pencil case. I have one eraser, one ruler, two pencils and two pens, red and blue. Can you find my pencil case? (角搭 No.2) Takeru : HI, I'm Takeru. Please find my pencil case. I have one eraser, one pencil and three pens, red, yellow and purple. Can you find my pencil case? (角搭 No.3) Hinata : Hello, everyone. I'm Hinata. Please find my pencil case. I have one ruler, one glue stick, two pencils and two pens, red and pink. Can you find my pencil case? (角搭 No.4) Robert : HI, I'm Robert. Please find my pencil case. I have one eraser and four pencils.			
やり取りの例 T : What do you have in your pencil case? S : Pencil. T : Pencil? I have pencils, too. Look. I have two pencils. How many pencils do you have? S1 : Five. T : You have five pencils. I have two pencils. S2, how many pencils do you have? S2 : Three. Good. You have three pencils. I have two pencils. S3, how about you? S3 : I have three pencils. T: Very good. You have three pencils ・ペアで持っているものについて尋ね合うよう言う。 S1: Do you have ~? S2: Yes, I do. Do you have ~? S1: No, I don't			
		◎文房具などの学校で使う持ち物の質問に答えている。〈行動観察・振り返りカード点検〉	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに言己人する。 ○歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	振り返りカード デジタル教材

4 年 Unit 5—Lesson 3 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう 3/3 時間

目標 文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。

準備 児童用テキスト、教師用カード(文房具)、児童用巻末絵カード(文房具)、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価(方法)	準備物
2分	・挨拶をする。	・全体に挨拶して、個別にも挨拶する。	
2分	【Let's Chant】 Do you have a pen? P19	・児童と一緒に言う。 Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pencil case? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a ruler? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a pen? Yes, I do. Do you have an eraser? No, I don't. Do you have a stapler? Yes, I do. Do you have an eraser? Yes, I do! Look, ten erasers!	デジタル教材
10分	【Let's Watch and Think 2】 p.20 ・世界の子供たちがかばんの中に持っている物を知り、自分たちの持ち物と比べて気付いたことを□に記入する。 Hi, this is my bag. I have a banana. I have an apple. I have sandals, too. I don't have textbooks in my bag. (スウェーデン) ②Hello! This is my bag. I have indoor shoes. I have a water bottle. I have color pencils. I have a toothbrush. I don't have textbooks in my bag. (韓国) □Hi. This is my bag. I have a sandwich, a water bottle and an apple. I also have a folder with my homework. I don't have textbooks in my bag.(アメリカ)	・世界の子供たちのかばんの中身を予想させ、興味を高めて;から映像を見せる。 ・視聴後は、共通点や相違点、気付いたことなどを発表させる。また、映像で子供たちがかばんに持っていた物を持っているかどうかを児童に尋ね、持ち物についてのやり取りをして、次の活動につなげるようにする。 ・映像資料で紹介される世界の子供たちのかばんの中には、教科書が入っていない。世界では、教科書を学校に置いておく場合が多いが、日本のように毎日教科書を持って帰ることで、家で復習や予習ができる利点があることをおさえておくとよい。	
24分	【Let's Play 2】 p.21 ペアの1人が文房具カードを誌面に置いて文房具セットを作り、相手にそれを伝えて同じ文房具セットを作る。	・ペアになり、相手に質問をして同じ文房具セットを作ることを告げる。代表児童とデモンストレーションをして、進め方を理解させる。	児童用テキスト 児童用カード (文房具)

	活動の進め方 ペア(A と B)になり, まず A がどんな文房具セットにしたいかを考えて, 誌面に児童用絵カード(文房具)を並べておく。その文房具セットは B に見えないようにしておく。B は, A に文房具について Do you have ~? と尋ね, A の答えに応じて, 文具カードを自身の誌面において, A と同じ文具セットを作る。作り終わった後, A と B の文具セットが同じかを確認する。相手を替えて繰り返す。		
		◎文房具などの学校で使う物について尋ねたり答えたりして伝え合っている。(行動観察・振り返りカード)	
5分	・本時の活動を振り返り, 振り返りカードに記入する。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	振り返りカード
2分	○歌 Goodbye Song (3 年 Unit 2) ・挨拶をする。	・児童と一緒に歌う。 ・挨拶をする。	デジタル教材

1. 単元目標

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。【慣・気】
- ・身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。【慣】
- ・相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。【コ】

2. 言語材料

- Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have(six). Do you have a ("b")? Yes, I do./No, I don't.
- 小文字(a～z),

3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

4単元計画(4時間)

時	目標◆と主な活動○	評価の観点〈方法〉
1	◆身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付き、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 ○「これは何かな。」「どこにあるかな。」 【Let's Watch and Think】 p. 22 【Let's Sing】 ABC Song p. 23 ○ポインティング・ゲーム ○ミッシング・ゲーム 【Let's Chant】 Alphabet Chant p. 23	◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。【気】 〈行動 観察・振り返りカード分析〉
2	◆活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。 【Let's Sing】 ABC Song p. 23 【Let's Chant】 Alphabet Chant p. 23 【Let's Play1】 p. 23 【Let's Play2】 p. 23 ○マッチング・ゲーム	◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりする。 【Let's Sing】 ABC Song p. 23 【Let's Chant】 Alphabet Chant p. 23 ○BINGO ゲーム 【Let's Listen】 p. 24 ○アルファベット文字クイズ	◎身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉
4	◆相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。 【Let's Chant】 Alphabet Chant p. 23 【Activity1】 p. 25 【Activity2】 p. 25	◎相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合っている。【コ】 〈行動観察・振り返りカード点検〉

4年Unit6—Lesson1 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 1/4時間

目標 身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付く、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。

準備 児童用テキスト、身の回りにあるアルファベット大文字で表示されたものやその写真、教師用カード（大文字・小文字）、デジタル教材、振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
展開	○これは何かな。 ・指導者の質問に答える。 ・大文字の読み方を思い出して言う。	・指導者はあらかじめ児童の身の回りや地域にある。 ・大文字で表示されたロゴや標識などを用意しておく。 ・黒板にそれらのアルファベットの大文字をゆっくり書き、児童にそれらが何かを尋ねる。 ・すでに3年生時に学習したローマ字で扱った小文字の存在にも気付かせるようにする。 ◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。【気】 〈行動観察・振り返りカード分析〉	身の回りにあるアルファベット大文字で表示されたものやその写真 教師用カード（大文字・小文字）
開	○どこにあるかな。 ・誌面から、さまざまな文字、看板を見つけて発表する。 ・指導者が言う文字を探して発表する。	・児童用テキスト p. 22, 23 を開けさせ、どのような文字があるかを発表させる。文字の名称を言い、それがどこにあるか探させる。また、活字体以外の筆記体に気付かせ、次の活動につなげる。	デジタル教材 児童用テキスト
	【Let' s Watch and Think】 p. 22 ・身の回りにある看板や表示を見て、アルファベットの小文字を知る。	・前活動を生かして、映像資料を視聴させ、音声と一緒に文字の読み方（名称）を言うよう促す。	
	【Let' s Sing】 ABC Song p. 23 ・音楽に合わせて歌う。	・児童と一緒に歌う。 ・「Z」はイギリス英語とアメリカ英語では読み方が異なることに触れる。	デジタル教材 教師用カード（小文字）
	○ポインティング・ゲーム	・児童用テキスト p. 14, 15の周りにある小文字を使って、ポインティング・ゲームをする。 ・個人で行う。指導者の後について文字の名称を言う。	
	○ミッシング・ゲーム	ミッシング・ゲームの進め方 ・1～8枚の教師用カード（小文字）読み方を再度確認する。 ・隠すカードは1枚から始め4枚程 ・黒板にカードを掲示してから児童に隠されたカードが何かを児童に考えさせ発表させる。	
まとめ	・本時の活動を振り返る。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

※小文字に慣れ親しむという目標に向かって指導は行うが、評価の記録は残さない。次時に合わせて、小文字に慣れ親しんだかどうかの評価記録を残す。

4 年Unit6—Lesson1 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 2/4時間

目標 活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。

準備 児童用テキスト，教師用カード（大文字・小文字），児童用カード（大文字・小文字），デジタル教材，おはじき，振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。	
展 開	【Let' s Sing】 ABC Song p.23	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材
	【Let' s Chant】 Alphabet Chantp.23	・小文字カードを児童と言いながら黒板に掲示してから，チャンツを児童と一緒に言う。	教師用カード小文字)
	【Let' s Play1】 p.23 ・誌面にある街のイラストからアルファベットの小文字を探して指さす。	・誌面 p.22,23 を開かせ，指導者が言ったり，デジタル教材を聞かせたりして，アルファベットの文字を探させる。慣れてきたら，出題者を児童にしてもよい。	デジタル教材 児童用テキスト おはじき 教師用カード小文字)
	【Let' s Play2】 p.23 ・誌面の周りにある小文字を使っておはじきゲームをする。	進め方 ・児童は自分のテキストの誌面にあるアルファベットの小文字から5つ選んで，その上におはじきを置く。 ・指導者は，26 の教師用カード(小文字)から10枚選んで持ち，児童にはどの文字かは見せない。 ・児童が，Do you have~?と尋ね，指導者がYes, I do. Have~. /No, I don't.Sory. と答え，指導者が持っているアルファベットにおはじきを置いていたら，そのおはじきを取る。おはじきがなくなった人があがり。 ◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	
	○マッチング・ゲーム ・大文字と小文字を対応させる。	・教師用カード（大文字）を黒板にアルファベット順に並べながら，児童と一緒にその名称を言う。 ・教師用カード（小文字）を大文字の下に並べながら，児童と一緒にその名称を言う。 ・次に，児童の実態に応じて，次の活動をペアやグループで行う。個別に支援をする。	教師用カード （大文字・小文字） 児童用カード （大文字・小文字）
ま と め	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

4年Unit6—Lesson3 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう 3/4時間

目標 身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりする。

準備 児童用テキスト，教師用カード（小文字），児童用カード（小文字）

ワークシート（Unit1-2, 1-3：ビンゴシート），身の回りの物など，デジタル教材，振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし，個別に数名の児童に挨拶をする。	
展 開	【Let' s Sing】 ABC Song p. 23	・児童と一緒に歌う。	デジタル教材 教師用カード (小文字)
	【Let' s Chant】 Alphabet Chant p. 23	・小文字カードを児童と言いながら黒板に掲示してから，チャンツを児童と一緒に言う。	
	○BINGO ゲーム	BINGO ゲームの進め方 ・ビンゴシート縦4×横4に並べ，ビンゴシートを作る。 ・指導者は26枚の小文字カードから数枚選び，文字を児童に見せないように持つ。 ・Do you have ~?で尋ね，Yes, I do. I have ~. No, I don' t. と答えたりする。	教師用カード(小文字) 児童用カード(小文字) ワークシート (Unit1-2, 1-3 : ビンゴシート)
	【Let' s Listen】 p. 24	・児童用テキストp. 24でLet' s Listenの音声を聞いて，誌面にあるどの看板や表示かを考えて番号を□に記入する。	
	○アルファベット文字クイズ ・ペアで身の回りにあるアルファベットの文字クイズをする。	・前活動の進め方を参考に，誌面p. 22, 23にある表示や身の回りにある表示について，ペアでヒントを出したり，ヒントを聞いてそれが何かを答えたりするよう告げる。 ◎身の回りにあるアルファベットの文字について尋ねたり答えたりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト 身の回りの物など
ま と め	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

目標 相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。

準備 児童用テキスト, 教師用カード(小文字), デジタル教材, 振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	デジタル教材 教師用カード(小文字)
展 開	【Activity 1】 p.25 ・5つの表示から1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の表示を考えて答える。	・デモンストレーションで代表児童に1つの表示を選ばせ、指導者がDo you have a~? と尋ねる。 他の児童にも一緒に質問するように促しながら、進め方を理解させる。	デジタル教材 児童用テキスト 教師用カード (小文字)
	【Activity2】 p.25 ・児童用テキストの10色の中から好きな色を1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の色を考えて答える。	・Activity 1と同様の進め方で、好きな色を題材にして行う。 ・デジタル教材で登場人物の「あやめ」と「れん」のやり取りのモデルを聞かせてから行うとよい。 ・難易度を上げるために、当てる側の質問回数を2回までとするなど、児童がより意欲をもって尋ね合うことができるように児童の実態に合わせてルールを工夫する。 ・相手を替えて何度も繰り返すために、それぞれの色が好きな友達を見つけるよう呼びかけるなど、児童が意欲的に伝え合うことができるようにする。 ・途中で活動を止め中間評価を行い、よいやり取りをしているペアにやり取りを再現させ、学級全体でよいところを確認するなどして、後半の活動がよりねらいに沿ったものになるようにする。 ◎相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合っている。【コ】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
ま と め	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

1. 単元目標
 - ・教科名や教室名、案内の表現に慣れ親しむ。【慣】
 - ・世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付く。【気】
 - ・自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。【コ】
2. 言語材料

Go straight. Turn[right/left]. Stop. This is(the music room). This is my favorite place. Why? I like(music). favorite, place, my, our, go, why, straight, 学校・教室等
3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはっきり と話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと (やり取り)	ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。

4単元計画(2時間)

時	目標◆と主な活動○	評価の観点〈方法〉
1	◆教科名や教室名の言い方、道案内の仕方に慣れ親しむ。 【Let's Chant】School Chant p.32 【Let's Play1】ポインティング・ゲームp.31 ・ペアで、児童用テキストp. 30, 31の校内地図を見て、指導者の言う教室を探して指さす。 ○どの教室か考えよう。 ・ペアで、児童用テキストp. 30, 31の校内地図を見て、協力して指導者が言う行き方を指でたどり、到着した教室名を言う。慣れてきたら個人で行う。 【Let's Listen 1】 p. 30, 31 ・デジタル教材の音声で道案内を聞き、どの教室かを考えて発表する。 【Let's Play 2】 p. 33 ・友達にインタビューし、誌面にある教室が好きな友達の名前を□に記入する。 【Let's Watch and Think1】 p. 31	◎教科名や教室名の言い方、道案内の仕方を聞いている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	◆世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。 【Let's Chant】School Chant p.32 【Let's Watch and Think2】p.32 ・映像資料を視聴し、外国と日本の小学校の違いなど、気付いたことを□に記入する。 ・映像資料の内容について、指導者の質問に答える。 【Activity】p.33 ・校内の好きな場所を、その理由とともにペアで伝え合う。	◎多様な考え方があることに気付いている。【気】 ◎自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合っている。【コ】 〈行動観察・振り返りカード点検〉

4年Unit8—Lesson1 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう 1/2時間

目標 教科名や教室名の言い方、道案内の仕方に慣れ親しむ。

準備 児童用テキスト、教師用カード（教室）、校内の教室の写真、校舎内の見取り図、デジタル教材、振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	・挨拶をする。 【Let's Chant】School Chant p.32	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
展 開	【Let's Play1】 ポインティング・ゲームp.31 ・ペアで、児童用テキストp.30,31の校内地図を見て、指導者の言う教室を探して指さす。 ○どの教室か考えよう。 ・ペアで、児童用テキストp.30,31の校内地図を見て、協力して指導者が言う行き方を指でたどり、到着した教室名を言う 慣れてきたら個人で行う。	・指導者が言う教室名を聞いて、誌面にある教室を指さすよう言う。デジタル教材で教室名を聞かせてもよい。 ・出発地点を決めて、そこから行き方を言い、どの教室に到着したかを考えて、答えさせる。道案内の仕方を繰り返し聞かせることがねらいである。 ◎教科名や教室名の言い方、道案内の仕方を聞いている。【慣】〈行動観察・振り返りカード〉	教師用カード（教室） デジタル教材 児童用テキスト
	【Let's Listen1】 p.30,31 ・デジタル教材の音声で道案内を聞き、どの教室かを考えて発表する。	・前の活動の流れで、デジタル教材の音声で道案内を聞かせる。 ・再度、音声を聞かせて答えを確認する。	デジタル教材 児童用テキスト
	【Let's Play2】 p.33 ・指導者のお気に入りの場所について聞く。 ・友達とお気に入りの場所について伝え合い、誌面にある教室が好きな友達の名前を□に記入する。またなぜそこが好きなのかを尋ねる。	・まず、指導者が自身の好きな校内のお気に入りの場所を紹介し、次のインタビュー活動への意欲を高めるようにする。Let's Playにつながるように、児童にもその教室が好きかどうかを尋ねるようにする。 ・児童どうしで、好きな教室やその理由などを尋ね合わせる。	児童用テキスト デジタル教材
	【Let's Watch and Think1】 p.31 ・映像資料で説明の仕方を聞き、どのような英語が聞こえたかを発表する。	・登場人物が、校内の好きな場所に案内してくれるので、どのように案内するかを聞いてみようと呼びかけ、映像を視聴させる。 ・児童の答えやつぶやきを拾いながら、再度視聴させて説明の仕方を確認する。 ◎道案内を聞いて分かっている。【慣】〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
ま と め	・本時の活動を振り返る。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

※目標に向かって指導を行うが、評価の記録は次時と合わせて行う。

4年Unit8—Lesson2 This is my favorite place. お気に入りの場所をしょうかいしよう 2/2時間

目標 世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。

準備 児童用テキスト、教師用カード（教室）、デジタル教材、振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導 入	・挨拶をする。 【Let's Chant】School Chant p.32	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	デジタル教材
展 開	【Let's Watch and Think 2】p.32 ・映像資料を視聴し、外国と日本の小学校の違いなど、気付いたことを口に記入する。	・世界の子供たちや先生が自分の学校について紹介している映像資料を視聴すること告げ、分かったことや気付いたことを口に書くように言う。 ・まず、すべてを理解しようとせず、聞こえた語を発表させながら数回視聴させるとよい。すべて分からなくても、まとまりのある文から語が聞き取れたことをほめ、達成感をもたせるようにする。	デジタル教材 児童用テキスト
	・映像資料の内容について、指導者の質問に答える。	・映像を視聴して、単に外国と日本の小学校の相違点や共通点の気付きに終わらせず、映像資料の内容について児童とやり取りをするようにする。 ・映像資料の登場人物が最後に児童に向かって問いかけているのを捉え、児童に尋ねるようにする。 ◎多様な考え方があることに気付いている。【気】 〈行動観察・振り返りカード分析〉	
	【Activity】p.33 ・校内の好きな場所を、その理由とともにペアで伝え合う。	・ペアを替えながら、児童の実態に合わせて、以下の形式から選択して行う。 ◎自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合っている。【コ】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	教師用カード （教室） デジタル教材 児童用テキスト
ま と め	・本時の活動を振り返る。 ・振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

1. 単元目標
 - ・日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、日課を表す表現に慣れ親しむ。【慣】
 - ・絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。【慣】
2. 言語材料
 - I wake up(at6:00).I have breakfast(at7:00). I go to school. I go home.
 - 日課(wash my face, go to school, go home, brush my teeth, put away my futon, check my school bag, leave my house, take out the garbage), everything, later, boy, girl, yummy, wonderful
3. 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	イ ゆっくりはつきりと話されば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。
------	--

4 単元計画 (3時間)

時	目標◆と主な活動○	評価の観点〈方法〉
1	◆日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。 ○お話を聞こう。 ・指導者の質問に答えたり感想を言ったりしながら、読み聞かせを聞く。 ○どんなことをしていたかな。 ・絵本の主人公がどのようなことをしていたかを思い出して言う。 ○どのページかなクイズ ・指導者が言う日課を聞き、ペアで協力してそのページを探す。 ○チャンツ What time is it? (Unit4) ○お話を聞こう。 ・指導者の読み聞かせを聞きながら、話に合わせてペアで絵カードを順に並べる。	※絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりするという目標に向かって指導は行いが、評価の記録は次時に合わせて取る。 ◎日課を表す表現を聞いている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉
2	◆日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。 ○お話を聞こう。 ・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。 ○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books 'Good Morning') ○ジェスチャー・ゲーム ・指導者がする動作を見て、それが何かを答える。	◎日課を表す表現を聞いたり言ったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎短い話を聞いて質問に答えたり、おおよその内容を分かったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉
3	◆日課を表す表現に慣れ親しみ、まとまりのある話を聞いておおよその内容が分かる。 ○お話を聞こう。 ・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。 ○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books 'Good Morning') ○カードを並べよう。 ・指導者が言う場面のカードをペアで協力して探して並べる。 ○ペアで伝え合おう。 ・ペアの1人が1枚のカードを選び、そのカードにある物を参考に主人公の気持ちなどを言い、もう1人がそれに該当するカードを選ぶ	◎短い話を聞いて質問に答えたり、おおよその内容を分かったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉 ◎日課を表す表現を聞いたり言ったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉

4年Unit9—Lesson1 This is my day. ぼく・わたしの一日 1/3時間

目標 日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。

準備 児童用テキスト、ワークシート (Unit9-1, 9-2), デジタル教材, 振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価 (方法)	準備物
導入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
展開	○お話を聞こう。 ・最初のページを見て、どんな話を予想したり、そのページにあるもので、英語で言えるものを発表したりする。 ・指導者の質問に答えたり感想を言ったりしながら、読み聞かせを聞く。	・指導者は、デジタル教材の大型絵本を使って読み聞かせをする。 ・絵本を読む前に、まず、絵本の最初のページを見せて、どんなお話を予想させたり、ページにあるイラストの中で、英語で言えるものを言わせたりして、物語に興味をもたせるようにする。 ・読み聞かせをする。ALT等がいれば、指導者と役割分担し、説明文はALT等が、主人公の台詞は指導者が読むなどしてもよい。 また、デジタル教材の音声を聞かせてもよいが、最初は「手動再生」にし、児童の様子を見ながら指導者がページをめくるタイミングを図るようにする。	デジタル教材 児童用テキスト
	○どんなことをしていたかな。 ・絵本の主人公がどのようなことをしていたかを思い出して言う。	・読み終わった後、絵本のページの絵をさしながらUnit 4で慣れ親しんだ日課の言い方を想起させ、次のような質問をしてどのような内容だったかを振り返らせる。	
	○どのページかな クイズ ・指導者が言う日課を聞き、ペアで協力してそのページを探して、開ける。	・指導者は、Unit4で児童が慣れ親しんだ日課を言い、その誌面のページをペアで協力して開くよう言う。日課の語句に慣れ親しませるのがねらいである。そのため、指導者は1回だけでなく、日課を何度も聞かせるよう心がける。 ◎日課を表す表現を聞いている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
	○チャンツ What time is it? (Unit4) ・チャンツを言う。	・児童と一緒に言う。	デジタル教材
	○お話を聞こう。 ・ペアで、ワークシート (Unit9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを1セット使い、指導者の読み聞かせを聞きながら話に合わせて絵カードを順に並べる。	・ワークシート (Unit9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを、児童のペアに1セット用意する。 ・読み聞かせの話に合わせて絵カードを並べるように言う。 ・再度、絵本の読み聞かせをする。 ◎日課を表す表現を聞いている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 ワークシート (Unit 9-1, 9-2)
まとめ	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

4年Unit9—Lesson2 This is my day. ぼく・わたしの一日 2/3時間

目標 日課を表す表現に慣れ親しみ、絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かったりする。

準備 児童用テキスト、デジタル教材、振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
展開	○お話を聞こう。 ・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。	・前回同様、指導者は、デジタル教材の大型絵本を使って読み聞かせをする。 絵本の台詞で言えるところは、児童も一緒に言うよう促す。 ・読み聞かせでは、表情豊かにジェスチャーなどを付け、児童の理解の様子や反応に合わせ一緒に台詞を読んだり、児童と一体感を感じながら読み聞かせを行う。 ページをめくるタイミングを工夫したり、途中で質問を交えたりするようにし何より、指導者自身が楽しく読むことを大切にしたい。 ・ALT等がいれば、導者と役割分担し、説明文はALT等が、主人公の台詞は児童と指導者が読むなどしてもよい。また、デジタル教材の音声聞かせてもよい。 〈読み聞かせの途中での質問例〉 Who is this? What time is it? What time is your 'Diner Time'? ◎日課を表す表現を聞いたり言ったりしている。短い話を聞いて質問に答えたり、おおよその内容を分かったりしている。【慣】〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材 児童用テキスト
	○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Boks 'Good Morning')	・まず数回聞かせ、リズムをつかませると同時に、どのような語が聞き取れたかを発表させる。	デジタル教材
	○ジェスチャー・ゲーム ・指導者がする動作を見て、それが何かを答える。	・チャンツからの流れで、ジェスチャー・ゲームをする。指導者は、日課を表す動きをジェスチャーで表し、それが何かを児童に答えさせる。ジェスチャーで分かりやすいものを選んで行う。 wash my face, brush my teeth, put away my futon, ◎日課を表す表現を聞いたり言ったりしている。 【慣】〈行動観察・振り返りカード点検〉	
まとめ	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

目標 日課を表す表現に慣れ親しみ、まとまりのある話を聞いておおよその内容が分かる。

準備 児童用テキスト、ワークシート (Unit9-1, 9-2) の絵カードを切り離したもの、デジタル教材、
振り返りカード

	児童の活動	指導者の活動 ◎評価〈方法〉	準備物
導入	・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
展開	○お話を聞こう。 ・指導者の読み聞かせを聞きながら、絵本の台詞で言えるところは一緒に言う。	・前回同様、デジタル教材の大型絵本を使って読み聞かせをする。絵本の台詞で一緒に言えるところは、児童も一緒に言うよう促す。 《読み聞かせの仕方》 ・読み聞かせでは、表情豊かにジェスチャーなどを付け、児童の理解の様子や反応に合わせて、一緒に台詞を読んだり、ページをめくるタイミングを工夫したり、途中で質問を交えたりするようにして、児童と一体感を感じながら読み聞かせを行う。何より、指導者自身が楽しく読むことを大切にしたい。 ・ALT 等がいれば、指導者と役割分担し、説明文はALT 等が、主人公の台詞は児童と指導者が読むなどしてもよい。また、デジタル教材の音声を聞かせてもよい。 ◎短い話を聞いて質問に答えたり、おおよその内容を分かたりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	デジタル教材
	○チャンツ This is how I spend my day. (Hi, friends! Story Books 'Good Morning')	・児童と一緒に言う。児童の実態に応じて、すべてを言わせるのではなく、英語のリズムを楽しむ程度に扱ってもよい。	デジタル教材
	○カードを並べよう。 ・指導者が言う場面のカードをペアで協力して探して並べる。 ○ペアで伝え合おう。 ・ペアの1人が1枚のカードを選び、そのカードにある物を参考に主人公の気持ちなどを言う。もう1人がそれに該当するカードを選ぶ。同じカードなら、合わせて出す。役割を交代しながら進める。	・ワークシート (Unit9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを、児童のペアに1セット用意する ・指導者は、順不同に絵本の場面の台詞やその場面での主人公の気持ちなどを言う。 ・ワークシート (Unit9-1, 9-2) の絵カードを切り離したものを各児童に1セットずつ用意し、前の活動の流れで、児童どうしのペアでやり取りをさせる。 ◎日課を表す表現を聞いたり言ったりしている。【慣】 〈行動観察・振り返りカード点検〉	児童用テキスト ワークシート (Unit9-1, 9-2) の絵カードを切り離したもの
まとめ	・本時の活動を振り返る。 振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。	・児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

2019 年度 那覇市小学校外国語活動 指導案例集

2019 年度カリキュラム作成委員 教諭

所 属	氏 名	所 属	氏 名
真和志小学校	新城 秀樹	壺屋小学校	ウィルキンソン麻子
真地小学校	山里 莉央	天久小学校	岸本 綾乃
銘苅小学校	武村 美香	石嶺小学校	亀川 智洋
若狭小学校	與那覇 綾子		

那覇市教育委員会 指導主事	名嘉 めぐみ
那覇市立教育研究所 指導主事	金城 里子